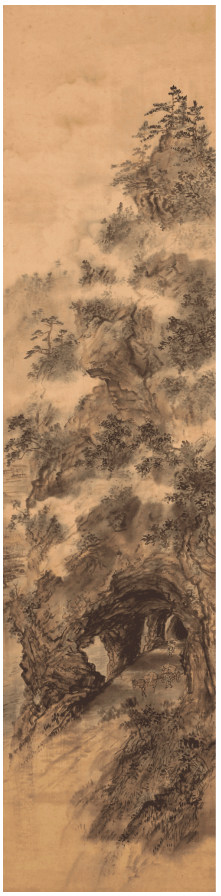
中津市歴史博物館企画展「渡邊雲僊展～雲僊の世界と耶馬溪～」

担当：歴史博物館　工藤（電話0979-23-8615）

広島県出身の渡邊雲僊(1892～1972)は、郷土の先哲である頼山陽に影響を受け、景勝地耶馬溪に憧れ、耶馬溪に移住した画家、文人です。古羅漢に「雲僊窟」を編み、耶馬溪を描いた作品を数多く制作しました。本展では、中津に残された雲僊の作品を中心に展示・紹介し、その足跡や創作の世界を振り返る展示を行います。多彩な才能と繊細で美しい作品をごゆっくりと堪能ください。

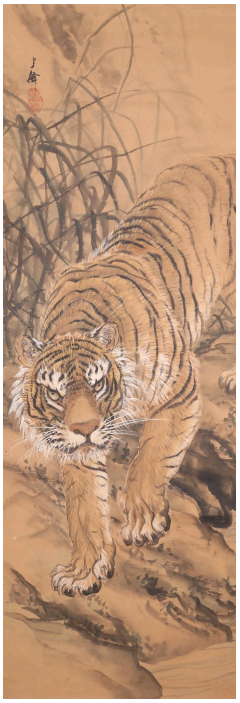
➢ 展覧会情報

会　期：令和8年11月21日(土)～令和9年1月11日(月・祝)
会　場:中津市歴史博物館
時　間:9:00～17:00
休館日:毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)
観覧料:一般300円、中学生以下無料
主　催:中津市歴史博物館



➢ 関連イベント

雲僊窟へいってみよう！
日　　時：令和8年12月5日(土)13時30分集合
集合場所：羅漢寺第2駐車場(中津市本耶馬溪町跡田1054)
対　　象：小学校4年生以上
定　　員：15名(先着順)
費　　用：無料
申込方法：web、電話にて受付け
申込みフォーム
https://logoform.jp/form/GEJZ/1801631



ギャラリートーク
日時：令和8年12月27日(日)　14時～
会場：中津市歴史博物館　展示室
費用：無料(当日の入館料のみ)
申込不要、定員なし

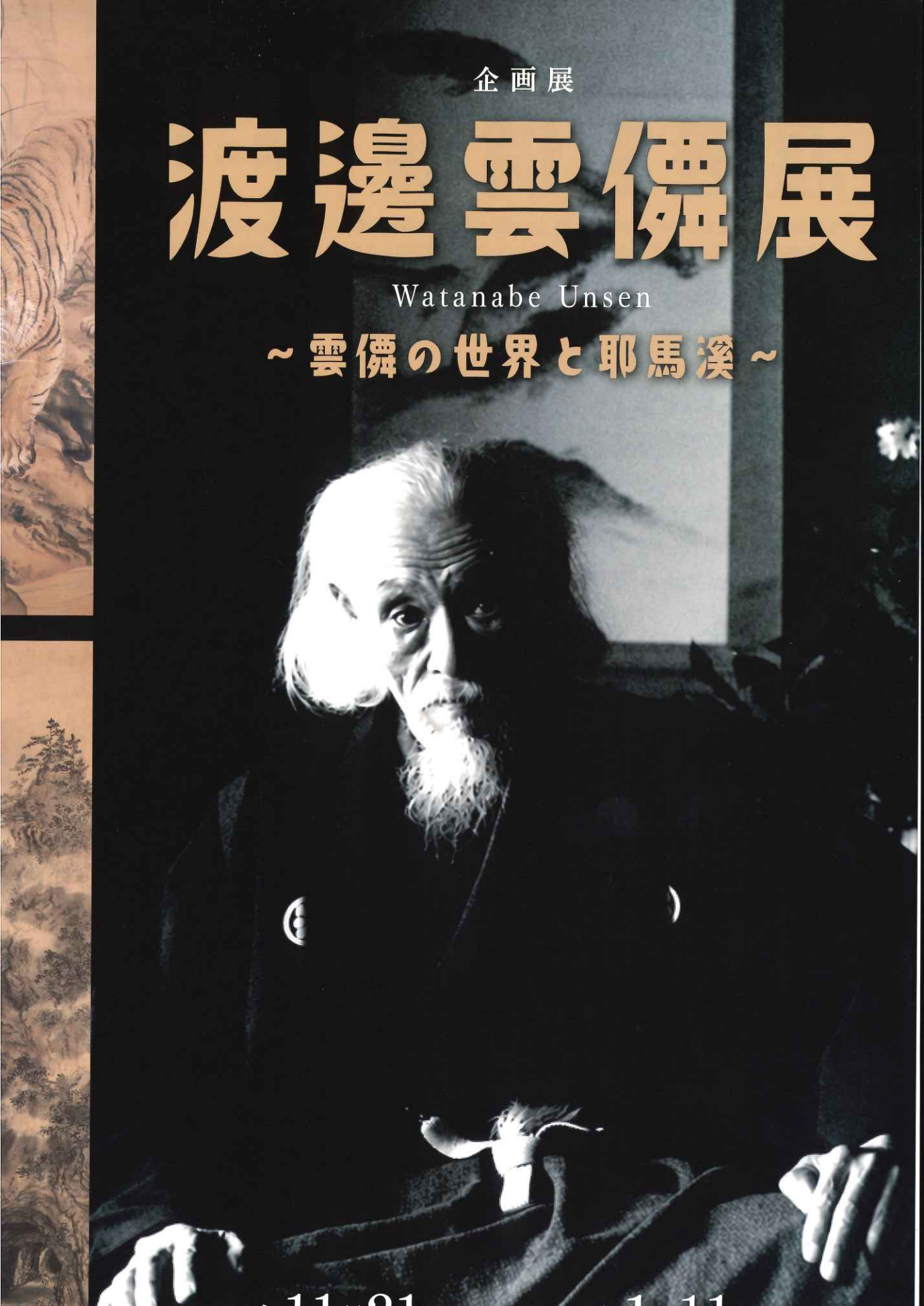
作品名
右「青の洞門」(制作年不詳)
左「虎図」(制作年不詳)

企画展

渡邊雲儁展

Watanabe Unsen

～雲儁の世界と耶馬渓～



学びの里なかつ推進プロジェクト

渡邊雲儡展 ～雲儡の世界と耶馬溪～

広島県出身の渡邊雲儡(1892～1972)は、郷土の先哲である頼山陽に影響を受け、当時から景勝地として知られていた耶馬溪の地に憧れて、実際に移住を果たした文人です。移住してからは、実際に耶馬溪に暮らしながら、耶馬溪を主題にした作品を数多く制作しました。
本展覧会では、主に中津市内に残された作品や資料から渡邊雲儡の足跡を辿り、その業績や、創作の世界を振り返る展示を行います。
中津ゆかりの文人雲儡の多彩な才能と、繊細で美しい作品をぜひごゆっくりとご堪能ください。

イベント情報

雲儡窟へいってみよう！

参加費:無料　定員:15名(先着順)　受付け開始:11/1～

日　　時：令和8年12月5日(土) 13:30 集合
集合場所：羅漢寺第2駐車場 (中津市本耶馬渓町跡田1054)
対　　象：小学校4年生以上
申　　込：logoフォーム・電話にて申込受付
申込みフォームURL：
https://logoform.jp/form/GEJZ/1801631

お申込みQR

ギャラリートーク ※当日の入館料のみ必要

参加費:無料※　申込不要、定員無し

日　時：令和8年11月21日(土) 14:00～
　　令和8年12月27日(日) 14:00～
会　場：中津市歴史博物館 展示室

関連イベント

第6回「中津学」講義「渡邊雲儡の世界と耶馬溪」

日　時：令和8年11月30日(月)　13時30分～15時
会　場：生涯学習センターまなびん館(中津市中央町1丁目3番45号)
講　師：工藤舞子(中津市歴史博物館学芸員)
問合せ：生涯学習大学事務局(生涯学習センターまなびん館内:22－7637)



渡邊雲儡プロフィール

広島県出身の画家、文人。
造り酒屋の次男として生まれ、幼少の頃から書画を学び、鈴木松年にも師事した。三十代を目前にして中津に移り、耶馬溪を題材にした作品を多く制作している。絵画制作の他、陶芸、竹工芸、句作、書作も行っており、非常に多才な人物であったことが窺える。



渡邊雲儡「木之子岳」(制作年不詳)



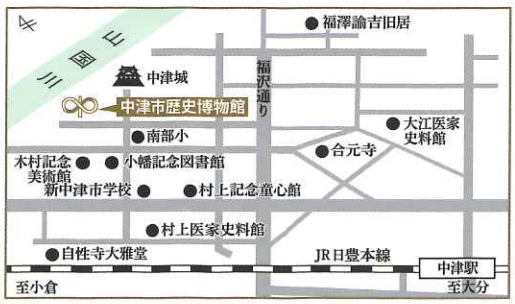
渡邊雲儡「雲儡窟」(制作年不詳)



渡邊雲儡「寿老人」
(制作年不詳)

中津市歴史博物館

〒871-0057
大分県中津市1290番地(三ノ丁)
TEL(0979)23-8615　FAX(0979)23-8616
開館時間:9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日:月曜日(祝日の場合はその翌日)・年末年始(12月29日～1月3日)
駐車場:22台



https://nakahaku.jp